

# 「一意専心」

2020年制作 撮影：マツモトカズオ

## 中村 弘峰

Hiromine Nakamura

人形師「中村人形」四代目  
 1986 福岡県福岡市生まれ  
 2004 福岡県立修猷館高校卒業  
 2011 東京藝術大学大学院  
 美術研究科彫刻専攻修了  
 2011 人形師で父の中村信喬に師事  
 2013 第60回日本伝統工芸展  
 初入選 新人賞受賞  
 2016 第3回金沢・世界工芸トリエン  
 ナーレ コンペティション部門  
 優秀賞受賞

「もしも江戸時代の腕の良い人形師が現代にタイムスリップしてきたら」これが私のここ数年取り組んでいる作品に共通する仮定です。だから、私の作品は、自分の作品であって、自分の作品でないのではありません。自分とは違う誰かの、ただあまりにも違いすぎることはない、一生かければ目指すことのできそうな、そんな人物を想像して技術を練磨し、制作にあたっています。

このアーチェリーの作品は、中学時代に通っていた学習塾・森田修学館の新しい高宮校の玄関に設置したものです。「一意専心」という同校の訓示からインスピレーションを受けて制作しました。



題字・箱島信一書  
 発行 修猷館同窓会  
 東京支部事務局  
 〒185-0034  
 東京都国分寺市光町 2-14-85  
 (有)パルティール内  
 FAX 042-573-5060  
 東京修猷会ホームページアドレス  
<https://www.shuyu.gr.jp/tky/>

# 雲上には蒼空が広がっている



東京修猷会会長  
 伊藤 哲朗  
 (昭和42年卒)

新年明けましておめでとございます。東京修猷会の皆様にはご家族共々清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の東京修猷会の活動は、新型コロナウイルスの影響で會員相互の交流の場も縮小せざるを得ず、3月以降は各月の二木会も、また、6月の総会も中止のやむなきに至りました。この間、各学年や各クラブ単位の會員相互の交流の機会も少ないことであつたかと拝察申し上げます。また、館友の中には医療現場の第一線で戦つていらつしやる方々やコロナ禍の影響で様々な困難に遭遇されている方々も少なくないことと思ひます。

新型コロナウイルスについては、まだ安全で効果的なワクチンも完成していませんし、効果的な治療薬の完成もいつになるかまだ見えない状況です。しかし、一方、どのような感染予防のための対策や行動をとれば新型コロナウイルスに感染しにくいのかということも少しずつわかってきました。また、感染した場合においても、医療の現場では重症化しないための治療方法も手探りながら少しずつ進んできているようです。とはいえ、今年も昨年と同様、残念ながら新型コロナウイルスの感染を防ぐ行動をとるにつつ、新型コロナウイルスと共に生きるという生活の続ける必要があるようです。これからはまだまだ先行きの見えない日々を過ごすことになるかと思ひます。

新型コロナという見えない敵と共に生きるということは、何か重苦しい先の見えない曇天の中で生活するような状況であり、なかなか心が晴れ晴れとしない日々でもあります。しかし、こうした日々もいつまでも続くものではありません。歴史をひもといても、有史以来、我が国には何度もパンデミックともいえる疫病が襲来しています。明治以降でもコレラやスペイン風邪が我が国を襲い、また、当時、予防法や治療法が十分でなかつた各種の伝染病や結核も、人々にとっては恐ろしい病でした。明治期の記録によると、当時、警察の仕事であつた防疫のために殉職した警察官は、秋田県だけでも

6人を数え、全国では数百人に及んでおり、その内容もコレラを中心に各種伝染病によるものとなつていいます。また、佐賀県の唐津には、当時流行したコレラの中にあつて、誰も近寄らうとしなかつた罹患者の救護にあたり殉職した増田敬太郎巡査を偲び、村民の手によって建立された増田神社というものがあつます。警察官が祭神となつた日本でも唯一の神社でもあります。今でも毎年、村人の手によって増田巡査を偲ぶお祭りが行われているとのこと。当時のコレラは、今回の新型コロナウイルスにもまして恐ろしい疫病でしたが、それでもいずれば終息の日を迎えたのです。

今回それがいつの日となるかは誰にもわかりません。雨の日に飛行機に乗って空を飛ぶとき、飛行機が雲間を抜けて雲の上に出ると、雨雲の上には蒼空が広がっていることがわかります。いかに分厚い雲であつてもその上には必ず蒼空が広がっている。雲の下にいる時には必ず蒼空があることは確かです。私たちが新型コロナウイルスという立ち込めた雲の向こうにはコロナ禍の終息という蒼空が広がっていることを信じ、今日を生きていくことが大切だと思ひます。コロナ禍の中、暗い気分や立ちほだかる困難に負けることなく、明るい未来が必ず来ることを信じて、自分、新型コロナと共にあるという我慢の日々を送る以外にはありません。

こうした中、私たち東京修猷会の今年の活動も、皆様とお会いする機会はまだ少ないものの、修猷の同窓生として共にあることを確認できる活動を行なつていければと考えています。昨年は、新型コロナとの付き合い方も手探りの状態であつたため、十分な取り組みこそできませんでしたが、そうした取り組みの一つとして、東京修猷館美術倶楽部OB会主催で、修猷の大先輩であり、日本人の洋画を主唱し画壇に大きな足跡を残した児島善三郎画伯の展覧会が開催されました。会場まで足を運ばれた方も多くいらしたと思ひます。今年は、こうした昨年の活動に加え、二木会の活動もやり方を工夫しながら再開できればと考えています。皆様方の知恵と積極的な貢献によりコロナ禍の中の東京修猷会の活動を考えていければと思ひます。

最後になりましたが、新しい年が、少しずつ希望が見え始める年となり、館友の皆様にとつても良い年となりますことを心からお祈り申し上げますとともに、互いに会えなくとも館友と共にあることが一層実感できる年となりますことを心から期待するものであります。

## 東京修猷会2021年活動スケジュール

※各日程は予定であり、変更になる可能性があります。

※二木会ゴルフ、サロン・ド・修猷は従来通り開催を予定。

1月 元旦 会報発行  
(住所登録済の全會員に送付)

14日(木) 二木会 於：学士会館

3月 11日(木) 二木会 於：学士会館

25日(木) 春期常任幹事会 於：学士会館

4月 18日(日) 二木会ゴルフコンペ

5月 13日(木) 二木会 於：学士会館

6月 11日(金) 総会 於：学士会館

テーマ「東京修猷2020(過去と未来をつなぐ猷(みち))」  
 於ハイアットリージェンシー 東京 クリスタルルーム  
 午後6時より  
 (幹事学年は平成6年卒)

7月 8日(木) 二木会 於：学士会館

9月 11日(土) サロン・ド・修猷 於：学士会館

10月 19日(日) 二木会ゴルフコンペ

12月 21日(木) 秋期常任幹事会

9日(木) 二木会忘年会 於：未定

# 総会実行委員長 リモート座談会

平成20年度総会実行委員長 小林 大輔(昭和57年卒)  
 平成27年度〜令和元年度総会実行委員長 梶栗 健吾(平成元年卒)  
 市原 毅(平成3年卒) 小野 顕(平成2年卒)  
 渡邊 智彦(平成5年卒) 宮崎 真二(平成4年卒)

幹事学年を務めるはずの昨年の総会がコロナ禍により中止となった中、引き続き今年の総会の幹事学年を引き受けていただいた平成6年卒六星会の皆さんに、実行委員長経験者達がエールを送ります。

## 修猷の横の繋がり

**小野** まずは小林先輩から、ご自身が実行委員長を務められた際を振り返っていただくとともに、当時創設された現在も続いている「実行委員長の会」への思いについてもお話しくださいなと思います。

**小林** 私達の時は、全ての館友の皆さんが、今の立場や境遇に関係なく高校時代に返れるような総会にしようと同期と話し合い、「修猷スイッチ」という企画を実施しました。応援歌練習、運動会のチャリディング・タンピング等の修猷の共通の思い出を、若い世代にも協力いただき総会場で再現しました。会場の皆さんが昔に戻って楽しんでいる姿を見て、涙が出るほど嬉しかったことが心に残っています。

そのような総会を終え、翌年の実行委員長が私と同じ合

**渡邊** 私は直近の令和元年の総会を担当しました。私が応援いただいた時には実行委員長の会もかなり大所帯で、ともかく不安な中、既に乗り越えてきた方々がこれだけいることが私にとって大きな安心でした。優秀な同期達に引張ってもらいように準備を進め、本番の会場で締めくく

の挨拶を終えた後、いい総会だったと先輩方に抱きしめていただいたのも格別の思い出です。

**宮崎** ネガティブに考えず、初めてこういうことができると思っています。我々のような幹事学年を経験した世代は皆さんの大きな味方なので、何でも声をかけてもらいたいですね。

**市原** 例えばやりたいことも準備期間の関係上できなかったり、1年延びたことを逆にプラスに考えてほしいです。

協力してくれる同期もこれから増えていくはずですので、ともかく楽しんでやってもらいたいと思います。

**小野** この状況下で大変だと思いますが、引き続き担当すると言っていたこと、他の代にない貴重な経験ができることは間違いのないと思います。先輩方も巻き込み、またどのような形の開催であれ、できるだけ多くの同期の方々が出となる総会にしていきたいです。



縦の絆を深める実行委員長の会

委員長の会に代表される修猷の縦の繋がり、どちらも大変ありがたかったというの、本日参加している我々共通の意見ですね。それぞれ、平成6年卒の皆さんへの応援のお言葉をいただけますでしょうか。

**渡邊** 担当期間が1年延び、モチベーションの維持もなかなか難しいかもしれませんが、歴代の総会の中でこれほど皆さんが楽しみにしている総会もないと思います。安心して新しいことに取り組んでください。

朋猷会の先輩方からバトンを受け取ったGO猷会の二木会幹事学年の活動は、東京修猷会の加藤純一副会長による第650回の記念講演から務めさせていただきます。

しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大の防止として、3月以降の二木会の活動を休止せざるを得なくなりました。

私たちがGO猷会は、二木会の幹事学年を務めることを誇りに思い、先輩方が繋いできたものを繋ぎながらも、同期で力を合わせて、GO猷会ならではの運営をしたいという思いで務めてまいりました。

## 今回の決断をぜひ楽しんで！

**小野** 総会の準備過程で改めて得られた同期達との横の繋がりと、実行



ZOOMで実施された座談会。左上より時計回りで小林大輔、小野顕、梶栗健吾、宮崎真二、渡邊智彦、市原毅

新たな繋がりを生む幹事学年の活動



新たな繋がりを生む幹事学年の活動

## 新しい生活様式の東京修猷会総会に向けて

岡 武志(平成6年卒)

去る4月15日、令和2年6月12日に開催する予定であった東京修猷会総会の中止が公表されました。右も左もわからず実行委員長を拝命し、迫る期限に追われながら準備をしていたものが、志半ばにあっけなく中止となり、もう一年六星会で積み上げることになりました。大学浪人したとき

の感覚を思い出しました。応援していただいた館友の皆さん、丁寧にサポートしていただいた執行部の先輩方、仕事・家族と折り合いをつけ準備をすすめてくれた六星会の同期たち、会場を提供してくださるホテルのご担当者等々多くの人たちの落胆の顔が思い浮かびました。

そして時間がたつのも早いもので総会幹事学年2回目の秋がやってきました。

令和2年9月現在、まだコロナ対策の先行きは不透明なまま、令和3年6月の開催を想定した構想も手探りの状態です。しかしながら、この



## 新しい時代の「修猷の輪」

大場 洋士(平成5年卒)

朋猷会の先輩方からバトンを受け取ったGO猷会の二木会幹事学年の活動は、東京修猷会の加藤純一副会長による第650回の記念講演から務めさせていただきます。

しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大の防止として、3月以降の二木会の活動を休止せざるを得なくなりました。

私たちがGO猷会は、二木会の幹事学年を務めることを誇りに思い、先輩方が繋いできたものを繋ぎながらも、同期で力を合わせて、GO猷会ならではの運営をしたいという思いで務めてまいりました。

私もお祈り申し上げます。

最後に、この事態が早く終息することともに、館友の皆さまのご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げます。



こそ、修猷館という「共通項」により、世代や地域を超える「修猷の輪」の存在意義はより一層高まると確信しています。館友を繋ぎ合わせていくために、そして社会を繋ぎ合わせるために、修猷館同窓会の数多くの活動は必要不可欠です。

私も館友の一人として、「修猷の輪」が新しい時代の形に進化できるよう、しっかりと前を向いて進んで行きたいと思っております。

福岡県立修猷館高等学校同窓会 令和3年度

# 東京修猷会総会

東京修猷 2020 ~過去と未来をつなぐ猷~

令和3年6月11日(金)18時

ハイアット リージェンシー 東京

平成6年卒 六星会

東京修猷 2020 記念品 通信販売始めました。 <https://syuyukan.buyshop.jp>

QRコード及びパスワードは紙面のみ掲載しております。

昨年はコロナに終始した一年でした。年初に二木会での後の社会保障のお話をさせていただいた頃には、こんな年になるとは思いもよりませんでした。その後9月まで、厚生労働省の事務方の責任者として対策に当たり、コロナが今の世界に及ぼした影響の大きさを身をもって感じました。人は、未知なるものに遭遇すると不安や恐れが先に立ちます。まして感染症はすべての人が「我が事」として関わるものです。敵(ウイルス)の全貌が分からないうちは、対策も手探りで進めざるを得ませんでした。が、文字通り寝食の間もなく奔走するスタッフたちに「事態が終わらないうちは批判も多かるうが、甘んじて受けよう。終息すれば、君たちの努力は必ずや評価される」と激励しつつ、取組を進めました。

私は今回、日本人と日本の心根の立派さを改めて認識しました。私たち一人ひとりが、マスクの着用や手指の消毒などを日常動作にしっかりと組み込み、新しい生活様式を心掛けたことは、感染の拡大防止に大きな効果を発揮しています。医療や介護・福祉の現場で働く方々の献身的な努力は、多くの感動と共感を呼び起こしただけでなく、重症の方や亡くなった方の数を世界的に見ても低い水準に抑えるという成果につながっています。経済も大きな打撃を受けましたが、事態はまだ予断を許しません。官民挙げての取組によって、雇用も含めて、次第に回復への道のりを歩みつつあります。

**館友時評**

# コロナを超えて ~日本の明日を見る~

鈴木 俊彦(昭和53年卒)

さて、今回の経験(まだ現在進行形ですが)から、我々は何を学び、何に向かって進んでいけばいいのでしょうか。改めて考えると、グローバル化の進む今日、世界中で頻繁にヒトとモノが行き来することによって避けられません。コロナのような新興感染症が発生するリスクは、常に存在すると考

えないこととは、広範多岐にわたるのですが、私が最も重要と考えているのは、私たち一人ひとりの意識や生き方の問題です。感染症は、全ての人の「我が事」として降りかかると、持続的に不安と恐れをもたらす脅威です。この結果、どの国を見ても程度の差はあれ、差別や排除、社会の分断という現象が生じていますが、この問題の克服に成功した国は、私の知る限りではまだ一つもありません。

結局、今般の事態によって最も大きな挑戦を受けているのは、一人ひとりの意識の在り方や生き方であり、それに規定される社会全体の在り方ではないでしょうか。この問題を克服し、不可避的に進むグローバル化や多様化に対して、足腰の強い社会をつくっていくこと、これがこれからの日本の最大のチャレンジです。そして、私たち日本人一人ひとりの意識や生き方に根差す戦いでもあります。

私は、日本の国と国民は必ずや、このチャレンジに成功すると信じています。修猷で学んだ仲間が中心となって、館歌に謳われているように、「久遠の理想を望みつつ」「向上の路を進み行き」「吾等が使命を果たして」

このためには、対処しなければなら



鈴木 俊彦  
平成30年7月から  
令和2年9月まで  
厚生労働事務次官

~紙上二木会~ 個性きらめく 館友たち

**オンラインで磨く表現力**  
フリーアナウンサー  
堤 信子(昭和56年卒)



私の「プレゼン演習」の講義では、学生は皆、顔出し、音声も参加です。



オンライン講義中の筆者  
普段の姿にびっくりしたという学生も多く、回を重ねるたびに、生き生きとした表情や姿勢を意識して身につけ、表現力もアップしていききました。「声」もそうです。コンピューター音声でやり取りするオンラインは、音量や声質よりも、いかに滑舌よくメリハリをもって話すかがポイントです。

アナウンサー歴35年、現在は、アナウンサー業、執筆業とともに、3つの大学で「メディア論」や「プレゼン演習」などをテーマに教鞭をとっています。

この講義で目指すのは「表現力の向上」。心理学者メラビアンの法則によると、第一印象を左右するのは、「表情」が55%、「声」が38%、「話す内容」が7%。これは「表現力」にも当てはまります。

そこで学生にまずアドバイスをしたのは、映っている自分を客観視すること。自分たちが常に画面に映っているオンライン講義では、普段の、自分の表情や態度、姿勢や身だしなみが画面に晒されます。ここでしっかり自分の第一印象をチェックするのは、「こんなに無表情で猫背だったとは……」などと自分の

**森林環境・林業再生との取組**  
伊佐ホームズ(株)社長  
伊佐 裕(昭和44年卒)



されている埼玉秩父の林業家山中さんと出会い、林業再生の思いを強くし多くの先生方、同志達と次にご紹介する新会社を設立しました。

チェーンであり、住宅の一本一本の材を情報管理することで木材のトレーサビリティを確立しました。この取組は政府の先導モデルとして取り上げられ、林業再生の期待を担うようになっております。更にこの事業を推進し、森林・林業を健全にするには植樹を通じ、消費者の理解を深めることがより重要だと考え、昨年「秩父FOREST」を立ち上げました。

私は美しい建築物をつくる為、会社を起業して33年、終わりの無いこの仕事は今も続いております。昭和41年、修猷館入学とともに入部した美術部の部室から始まった美を求めめる心は強くなるばかりであります。扱って、日本の建築美は多種多様な

木々の美しさが有つてのことでありますが、現在我が国の森林環境、林業は大変危機的な状況です。樹齢50年の原木価格が8000円程度、このコストでは林業家にとっては経営できず、山の放置が拡大、森林環境の悪化に繋がっています。

最後に修猷とご縁を。森林パートナース社長を小柳雄平(小柳陽太郎先生孫)が、美術部坂口寛敏先輩(昭和43年卒)(藝大)が秩父FORESTを推進してくれ、林業機械では吉川浩先輩(昭和33年卒)の協力と、修猷館の結束で明日の林業を拓いて参ります。



長谷川町子記念館、川口館長と

**日本ワインを選択肢の一つに**  
お笑い芸人 髭男爵 ひぐち君  
樋口 真一郎(平成5年卒)



インエキスパートの資格を取得したのですが、正直、人生で一番勉強しました。

テイスティングの訓練では、新幹線での移動中、小瓶に入れたワインをずっとクンクン嗅いでいて、通報されてもおかしな感じはなかったです。その後、ワインの世界にどんとどんと飲みこみ、年間千四百種類を飲むように。そのうち8割は日本ワインです。ワインには、土地を意味する

お笑い芸人をやらせてもらっているのです。最近ではワインの仕事も頂いています。きつかけは、ワイングラスを持った漫才。ワインの「ワ」の字も知らないながら、ありがたいうちに毎年ボージョレ・ヌーボーの解禁イベントに呼んでもらっ

ていました。例年はスーパーマーケットでの出演だったので、ある年は品川プリンスホテル、しかもフランス大使館の方々の前で。そこで、「今年のボージョレはいかがですか?」と聞かれ、「一八八か「重たいですね」と真逆のことを言ってしまう、会場は失笑。あまりの空気にヌーボーよりも赤面。これではいかんと、ワ

おかげさまで、ソムリエになるフランス語から派生した「テロワール」という概念があり、水を使用しないワインには、その土地の味が出ると言われています。これがまたおもしろい。多雨の日本で造られるワインには、海外ワインにはない繊細さや旨み、出汁感が感じられ、和食の繊細な味わいに寄り添うのです。日本で育った食材と日本ワインは完璧にマッチアップします。日本のチーズともオススメです。よ。



塩山洋酒醸造にて甲州を収穫

# 繋がっとうけん!



## 東京修猷会

昨年は富士市で果敢に。卒業50周年行事までも中止。三密の有難さを噛み締めています。今年こそ元気に会いましょう。

また会いたい人、まだ会ってはいないけれど会ってみたい人がいる事は幸福です。館友の皆様とお会いできる日が楽しみです。

コロナが憎い!怖い!背広ネクタイ姿で外出する機会が殆どなくストレス状態。人と人との絆の力が同窓会、みんなで考える時です。

「物来順応」は広田弘毅先輩の座右の銘。何が起きようかと、慌てず恐れず自在に対応の心構えは、今こそ。

コロナ禍をどう生きるか、どう乗り切るか「人間力」が試されています。ピンチはチャンス!人の世の変化を見極めて次なる行動を!

『西のみ空に輝ける 星の微笑よ永久に』我ら心の道標、六光星。『つむぐ星よ、つむぐ夢よ』声高らかに肩組んでまた歌いましょう!!

### 会報編集長

いま地域盛り上げのため、住人と市や近くの大卒の先生とゼミ生等と試行錯誤しています。地元を根を張ることも大事。 棚町 精子 / 昭40年 / 第10号

顔を合わせる機会は激減したけれど、望めばいつでも気持ちには「密」に。心のディスプレイは要りません。 出川 加寿子 / 昭55年 / 第19号

幹事学年(特に総会)各位の無念さお察しします。姿を現さない難敵に心の絆で打ち克つた晩に目に見える形で絆を確認しましょう! 田平 浩二 / 昭62年 / 第26号

館友+αで続けてきた読書会は勢いあるcom。かえって、居場所を超えて繋がれる可能性を実感。色々できるつちやない、私たち! 塩本 美紀 / 昭63年 / 第27号

50年以上続いた友情は、天災や疫病でこわれるものではないし、かえって深まることもある。また肩を組んで館歌を歌おう! 広瀬 豊 / 昭43年 / 監査役

創部125周年の年に、コロナ禍で十分な練習や試合もできず、グラウンドを去らざるを得なかった野球部の3年生にエールを送ります。負けるな。 土肥 研一 / 昭46年 / 顧問

## 修猷館同窓会

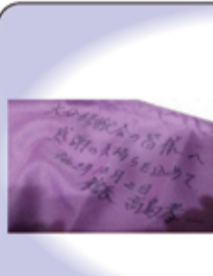
時代の歯車が大きく回る時こそ修猷の出番だ。明治の金子、昭和の中野、廣田、緒方に続く令和の英傑出でよ! 川崎 隆生 / 昭44年 / 福岡

同窓会寄贈の新調の人工芝で、事前に録音した応援の声の下での運動会。やり切った! 七段ピラミッドも成功!! 津田 純嗣 / 昭44年 / 北九州

佐賀も200人超の感染者が出て、リアルな活動に制限が在り、思うようになりません。今後も共に絆を持って活動を続けましょう。 駒井 英基 / 昭49年 / 佐賀

卒業以来生活の場を何度か変えましたが、何処にいても頼りになる同窓生が居て話ができる事は心強いことです。 中牟田 真一 / 昭41年 / 長崎

例年、関東開催の修猷2年生研修旅行。コロナ禍の影響から館長直々に大分修猷会への全面支援依頼! 昨年十月無事終了、安堵の極み。 井上 正文 / 昭44年 / 大分



## 修猷館高校

人工芝完成。光雲神社宮司の安全祈願。知事の祝辞。大運動会、例年通りのスタンド。人工芝に7ピラ。これぞ修猷健児なり。 高島 孝一 / 修猷館高等学校 第32代館長

コロナに負けんバイ! 熊本大地震で被災し分断された国道57号線とJR豊肥線が完全復旧しました。馬刺と焼酎が待つとりますよ。 井上 昌治 / 昭51年 / 熊本

『コロナ禍の克服、出来るか? (Can You? / 館友?) 出来るか? (Sure You Can? / 修猷館!)』 南嶋 洋一 / 昭29年 / 宮崎

修猷館で青春の輝きを体験した皆さん、これから修猷人として己の信じる道を進んで行かれるよう願います。 吉村 望 / 昭27年 / 鹿児島

香港修猷会メンバーは、コロナ禍にあっても落ち着いて対応しています。お互い頑張りましょう。 武藤 鎌太郎 / 昭56年 / 香港

総会中止、一方研修旅行幹事で今年東北卒業就職の山本賢君が共にボランティア活動した女性と結婚! めでた! 出納 克彦 / 昭45年 / 東北

'19年秋、修猷バスケット部S41、S45卒を中心に東京で奇跡的な再会。コロナに克つて、時空を超えて再集合だ。 嶋尾 正 / 昭43年 / 中京

近畿修猷会はウイズコロナ時代の総会として、リアルとオンラインのハイブリッド型総会を開催しました。 芦原 直哉 / 昭45年 / 近畿

私はWeedooで200人以上の館友と友達になつており、修猷の思い出や現在の状況を、時々博多弁を交えながら交流しています。 河野 浩 / 昭46年 / 中国・四国

ハイサイ!! 例年、沖縄の十月は那覇大綱挽。ヤシガ、昨年は自粛サ。今年館友と笑つて会おうのを楽しみに。チバリヨ! 灰瀬 英昭 / 昭42年 / 沖縄

### 福岡から世界に繋がる館友の絆



帰省することが叶わぬ今、いつも以上に故郷への思いが募ります。修猷の友たちが今日も元気でありますように。 山田 哲義 / 昭49年 / ロサンゼルス

生きているだけでありがたいと思ひ、会える日が来ることを信じましょう。そして互いを思いやる心を忘れずに過ごしましょう。 吉永 美也子 / 昭55年 / ニューヨーク



\* 「つむぐ星よ」は、下記よりお聴きいただけます。 <https://youtu.be/VoTXLnywbY>

33号 基本コンセプト

特別企画「会えんばって繋がっとうけん」に...



だからこそ、これまで紡がれてきた絆を、コロナ如きで絶やしてはならないのです。ここに、常日頃から東京修猷会を盛り立ててくださったという館友からのメッセージを集めてみました。コロナ禍における率直な今の気持ちを、感じ取って頂き、館友の皆様へ「再会」への希望が届いて、元気の灯がポツと温かくなって頂けたら幸いです。皆様！明るい場所を目を見開くか、虫眼鏡、老眼鏡をご用意なさってください。

# 特別企画 会元んばってん、

## 東京修猷会 常任幹事等

数えて88を迎える学年です。米寿記念の予定を早めて3年前に作った3冊目の「文集」を再読しつつコロナ禍下の絆を深めています。  
柴垣 和夫/昭27年/二十七

「サロン・ド・ゲンシヨル会」という勉強会を26年間継続。多彩な同期のお陰で話題と講師は事欠かない。皆80歳台だがボケ知らず！  
田中 栄次郎/昭30年/がめに会

つなごうとう昭33年卒です。「関東33会」でオンラインチャットを毎土曜に、遠くは米からも参加、少しずつ増えたとよ。  
山口 浩利/昭33年/さんさん会

卒業60周年の記念行事はコロナで中止になったばってん、気持ちには生きとるよ。  
久我 睦雄/昭35年/珊瑚会

コロナが鋭くえぐる世界。日本の諸課題、どれもこれも気がかり。「集う」を大切に今年も明るく楽しく、やっぱ好いとつと！  
修猷 松本 睦彦/昭39年/昭39会

集まって飲んだり、騒いだりということがなかなか出来ない毎日ですね。でも春の来ない冬はない！必ずまたお祭り騒ぎしましょう  
野中 公子/昭50年/五輪会



いつだって生き残るのは、変わらざる者とならざるにいられる者。しなやかに、したたかに、暇も無駄に楽しんでいきましょう。  
石松 拓人/平12年

自由にできなくなったことはあるけど、見方を変えてみれば新しい考えや手段がひらめくチャンスです。人生を楽しみましょう！！  
澤 毅/平13年

職場の病院と家、大学院を行き来する生活を送ってまはやく館友の皆様と再会したいです。  
高橋 梨紗/平14年

また集まって楽しく話せる日を心待ちにして、今は「耐えろー！」「どんな時も修猷はひとりっつー！！」  
出石 聡子/平元年/ガンガン会

何もかもがオンラインじゃつまらん！やっぱり直接会って話したい！！その相手は、あなたです(笑)  
河井 志帆/平7年/七猷会

尊敬する先輩方、可愛い後輩たち、九猷会の仲間たちとの一日も早い再会を、そして皆様のご健康を心より祈念しております。  
南部 芳子/平9年/九猷会

## 部活OB等

ワールドカップもそうでした。何歳になってもラグビーを通じて修猷館の友人が増えていくのが嬉しい。修猷BLU Eの躍動に期待！  
武藤 禎信/昭49年



五輪男子バスケット決勝、当選して。今夏もし観戦が実現したら年末OB・OG会で自慢させてもらおうけん、中目黒シフレに集まりやい！  
久保 徹/昭54年

毎年5月開催の東京パレ一部OB・OG会がコロナ禍で見送り。でも、またいつものように集まれるのを楽しみにしています！  
本山 浩司/昭56年

音楽は、どんな時でも人と人を繋いでくれます。心揺さぶる館歌を、皆さんと一緒に歌える日を心待ちにしています。  
井手 敏喜/昭58年

当たり前前に生活できることが何と幸せなことか。感謝の気持ちを忘れたいかん！明るい未来を築いていきましょう！  
本田 隆幸/昭58年

いろんな顔を思い浮かべて再会の時を想うと、遠距離恋愛愛みたい胸が高鳴ります。また逢う日まで、お互い元気に過ごしましょう！  
服部 豊/昭59年

外出自粛で家にいる間、登山家としてアラスカの雪洞で過ごした時間を思い出しながら、20年ぶりの本の原稿を書いています。  
栗秋 正寿/平3年

毎年恒例サッカー部東京支部OB・OG懇親会。今回できんかつた分、次回ははかばか盛大にやりますばい！お楽しみに！  
澤木 祐介/平5年

修猷出身の官僚の集まり「霞が関修猷会」です！霞が関中央官庁においても、修猷魂、在野の精神、反骨心でもって頑張ってます！  
鈴木 均/昭62年

来年から社会人になるにあたって、少しの不安がありながらも、自分らしく世のため人のために活躍していきたいと思っております。  
岡野 凌大/平29年



アンケートもお願いしました。内容はズバリ、「Q1:コロナ禍で新しく始めたこと」と「Q2:コロナ禍が収束したらやりたいこと」について。この期間に起こった生活の変化についてお伺いしたところ、たくさんの方から回答をいただきました。

**Q1:コロナ禍で新しく始めたこと**

第1位は「オンラインによる会合」。全体の4分の1を占めました。皆さんがコロナ禍であっても、繋がりを大切にされているというのがよく分かります。「オンライン飲み会」などを体験された方もいたようです。

第2位は「運動や散歩」、感染症予防のため免疫力を高めるということなのかもしれません。単にコロナ太り解消なのかもしれません。

第3位は「動画鑑賞」。これまで録りためたものを視聴したり、配信されている番組を見たりされているようです。少数意見ではありますが「家庭菜園」や「けん玉」、「自分史づくり」、「梅干しづくり」などもありました。

**Q2:コロナ禍が収束したらやりたいこと**

第1位は「旅行・帰省」。3人に1人がそのように回答されました。やはり今は、旅行や帰省を控えられていることがよく分かります。

第2位は「飲み会・会食」。修猷らしく、こちらが1位になるのかと思いましたが、予想が外れました。

第3位は「同窓会活動・再会」でした。同窓会の活動や仲

「通の生活」と回答された方もいらっしゃいました。これまでの当たり前がいかに幸せだったか、失ってわかったことも多くありましたね。

少数意見のなかには、「同窓会で館歌を思い切り歌いたい」という回答がありました。集まること、大声を出すこと、歌うこと、どれも今は行うことが難しいものです。だからこそ、みんなで館歌を歌える日が来るのが待ち遠しいですね。また「長男の結婚披露宴」という回答もありました。新型コロナウィルスが収束し、一日も早く実現できるといいですね。

アンケートにご協力いただいた皆様、ありがとうございます。

**Q1:コロナ禍で新しく始めたこと**

オンライン会合	25%
運動・散歩	23%
動画鑑賞	11%
片付け	6%
パソコン	6%
料理	4%
マスク	0%
その他	17%

**Q2:コロナ禍が収束したらやりたいこと**

旅行・帰省	37%
飲み会・会食	19%
同窓会・再会	12%
音楽活動・合唱	7%
普通の生活	7%
運動・散歩	7%
ライブ鑑賞	4%
スポーツ観戦	2%
その他	5%

「日本はどうなる？」  
業界別！ コロナ最前線で戦う館友からのメッセージ



徳永 研三(昭和58年卒) 国立感染症研究所長

私は国立感染症研でウイルス学研究に携わっています。私が専門とするエイズは治療法の確立により、ようやくコントロール可能な病気となってきた昨今でしたが昨年は新型コロナウイルスによる世紀に一度のパンデミック(感染爆発)が起きてしまいました。私の研究対象も現在、コロナウイルスにシフトしています。現時点でこのウイルスとの戦いは最も原始的なものです。つまりワクチンも治療薬もないこの状況では、如何に自身の基礎免疫レベルを上げ、体内に侵入するウイルス量を減らすかが全てとなります。

免疫レベルを高めるにはバランスの取れた食事、十分な睡眠時間、ストレスからの解放が必要です。更に体を鍛える事は免疫細胞を精鋭部隊へと鍛える効果があります。体内に入るウイルス量を最小限に抑えるには、手洗い・うがい・マスク着用は勿論のこと、周辺の衛生環境の整備が肝要です。ウイルスと免疫細胞との戦いは、古来の戦争と同じく多い方が勝ちます。体に入るウイルスが少なければ、免疫が勝つのです。

日々、最良の衛生環境を保ちつつ明るい気持ちと適度な運動で免疫力を維持して、ウイルスに打ち勝ちましょう。



前原 伸一郎(平成3年卒) 国立感染症研究所長

新型コロナウイルスの感染の始まり、救急病院で発熱患者の受け入れ拒否が起き、福岡では珍しく救急車のたらい回しが発生した。次に救急搬送患者が減少した。今までタクシー代わりに救急車を使っていた人達が病院へ来ることを避けたから。さらに、不確かな情報はいくつもの混乱を生んだ。コロナ担当の看護師の中には泣き出す人も。家族から看護師を辞めるように説かれる人も。病院は面会禁止となり患者と家族は離れ離れ。お互いに不安な入院生活となった。

救急搬送患者の中に発熱者は少なくなく、新型コロナウイルスを疑いフル装備で対応。ガウンが足りずレインコートを使用した。真夏に屋外で行ったPCR検査では汗だくになり、体重も減った。病院に寄せられた物資はありがたく、友人からの激励の言葉も嬉しかったが、残念ながら花火は一度も見ることができず。コロナとの共存は今後も続くし、新たな感染症も出てくるかもしれない。不安な未来だが、明日という日はみんなが初心者。館友の皆さん、どんな事態になろうとも修猷生らしく柔軟な思考と「世の為に」の精神で乗り越えて行きましよう。最後に家族の理解と支えに心から感謝したい。



牧嶋 知子(昭和61年卒) 国立先端科学技術総合センター長

米国テキサス州立大で耳鼻科医として診療や研究に携り15年。例年、忙しく退屈しない生活だったが昨年は違った。春はヒューストン近郊でもコロナウイルス感染の爆発的流行で毎日数千人の新規感染者が出た。我々耳鼻科医は患者さんの口やのどを直接診察するので自ら感染する危険性が高い。実際、マスク着用を怠った同僚耳鼻科医やスタッフが感染。それでもマスク着用義務を巡って政治的議論に

なってしまうテキサスの人々には呆れるばかり。やれやれ、重症者が周りにあまり出ないのが救いだ。暫くN95マスク必須で気が抜けない。夏には大型ハリケーン上陸予想のため10年ぶりに強制避難勧告が出て更に大騒ぎに。そんな中、この広い米国で修猷同期を近所に2人も発見！1年5組で一緒だった恭子ちゃんとバスケット部同級の通称アルファ。16歳で出会い、こんな時だから、もはや家族も同然。米国のコロナ禍は、この寒さで再燃の兆しだが何があってもみんな一緒に「レジリエンス」を持って乗り切って行けそうだ！

しかし、本来の大学教育は、人と人との出会いと交流によって高められると考えていますので、10月現在、感染防止対策を徹底しながら、対面授業の幅を広げていく予定ですが、自分の間は対面とオンラインのハイブリッド授業を実施して行かなければなりません。感染の終息にはワクチンの開発も必須です。本学は世界最先端のカイコ研究拠点を持つっており、飼育している約450種の中に、体内でワクチンの原料となるたんぱく質を大量に作ってくれる種があることを発見していました。現在はこの技術を使って新型コロナウイルスに有効なたんぱく質を見つけて出し、ワクチンの開発に取り組んでいます。新型コロナウイルスと共存あるいは爆発的感染拡大を乗り越え、人間社会の営みも持続していくWith & Beyondコロナ時代の持続可能な社会の実現に向け、大学が培ってきた



石橋 達朗(昭和43年卒) 静岡大学総長

コロナ時代の九州大学、新型コロナウイルス感染症は大学教育をも直撃しました。九州大学でも令和2年度の入学式は中止となり、春学期、夏学期の授業はオンラインで実施し、サークル活動もできず構内に立ち入ることさえできない状況でしたが、秋学期から感染防止対策を十分に実施して一部対面授業を開始しました。

本学では新型コロナウイルス感染症の蔓延以前から、大学の全教室に無線LAN環境を整備し、2013年度の入学生からPC必携化を開始して様々なデジタル教育に取り組んでいましたので、比較的スムーズにオンライン授業に移行することが出来ました。

温めていただきます。客室乗務員のありがたさを痛感しています。滞在中も大変です。どうか宿泊するホテルは確保していただいています。周囲に食事できる場所がないので、止む無く部屋でカップ麺やレトルト食品等を温めて食べます。また検査上の約束として、ホテル滞在中原則的に外出しないこととされています。精神的にまいらないよう、配信動画などを見ながら復路便に向けてコンディションを整えています。



西原 浩一(昭和56年卒) 日本航空機長

コロナ禍により航空界が多大なダメージを被る中、それでもかなりの飛行機が世界中を飛んでいます。表示上欠航でも、ひっそりと医療物資、食料をはじめとする様々な物資輸送を行っているのです。私はボーイング787型機に乗務し、主に米州、欧州と日本間の物資輸送を行っています。これには少々苦勞しています。

乗り込むのはパイロットのみ3、4人。操縦室以外の機内は真つ暗で薄気味悪さを感じます。機内食は自分で温めていただきます。客室乗務員のありがたさを痛感しています。滞在中も大変です。どうか宿泊するホテルは確保していただいています。周囲に食事できる場所がないので、止む無く部屋でカップ麺やレトルト食品等を温めて食べます。また検査上の約束として、ホテル滞在中原則的に外出しないこととされています。精神的にまいらないよう、配信動画などを見ながら復路便に向けてコンディションを整えています。

コロナ以前の当たり前の日々を送れたことは幸せなことであり、そんな日が再び訪れるのならば、感謝を忘れてはならないと感じています。



西村 直央(平成10年卒) 国立健康科学センター長

現在私はLINE(株)で官公庁・自治体・防災に関する仕事の責任者をしています。コロナ対策プロジェクトも複数担当しています。例えば皆さんのLINEに体調に関するアンケートが複数届いたと思えますが、そのプロジェクトなどを担当しています。

私のある通信・IT業界は、ICTを結果集し、新しい時代の困難な課題を解き活用していくことが、大学に課せられた重要な役割と考えています。最後に福岡では43年卒同期の小川洋知事と上野道雄県医師会前副会長が新型コロナウイルス感染症対策に尽力していることをお伝えします。

一方で想定していた以上のスピードで世界が動いている中、先を読んだ手を打つためには色々な方の知恵を結集することが必要で、それがなかなかできていないのが実情です。館友の皆様、是非一緒にアフターコロナに向けた取組をやりましよう。ご連絡お待ちしております。



松尾 武(平成元年卒) 金融庁長官

現在、銀行は「社会機能維持者」として、振込や現金の引出、借入、実質無利子・無担保融資のご利用等に関する相談・支援等、生活維持や事業継続に不可欠な金融サービスの提供を継続すべく取り組んでいます。

一方、お客さまの行動にも変化があります。今回の外出自粛を機に、わざわざ店舗に向かずとも様々な金融サービスが利用できる事を多くのお客さまに実感頂いております。インターネットバンキング等、非対面チャネルによる取引増加が加速、従来以上の速さで世の中へ浸透しています。このコロナ禍は、社会のデジタルシフトや多様な働き方への移行、社会貢献意識の高まり等、従来からの社会構造変化や課題を一層浮き彫りにしました。

安心・安全な社会、暮らし易い社会をいかに作るか、我々銀行に課されているものはこうした「社会のデジタルシフトへの能動的な対応」と「社会課題解決への貢献」であると考えると、その期待に応えるべく取り組んでいます。「皇国の為に世の為に尽くす館友幾多」。世界がコロナ禍と闘っている今こそ、館友各位がそれぞれの立場で、より良き世の為に尽くして参りましよう。



高見 信三(昭和51年卒) 経産省副大臣

72の法則を知っていますか？資産が2倍に増えるのに何年かかるかを測れます。年利2%なら「72÷2=36」なので、36年で2倍、といった具合。金利0.001%の普通預金なら「72÷0.001=72000」。7万2000年かかります。

日経平均採用銘柄の平均配当利回りは2%。配当だけで36年で2倍です。半沢直樹のTBSの社内ベンチャーだった東京エレクトロン株を上場初日の1980年に買って、今は「1000倍返し」とはいきませんが40年後のいまは200倍です。預金利息がゼロになり、リスク商品の株式

が金利商品に。金利世界の大転換が起こっています。世界的金融緩和で資産インフレが起こるリスクもあります。老後2000万円不足提言が曲解され社会問題化しましたが、今こそリスクと正しく向き合うことが日本人に求められています。疫病のリスク、地政学リスク、現状維持バイアスのリスク。メディアは重箱の隅ではなく、骨太な政策論を国民に提示しなければなりません。

リスクを反対から読むとクスリ。副作用はあるが、正しく付き合えば薬になる。日経グループのQUICKは、世界中の金融経済情報をリアルタイム配信しています。個人向け無料サイト「QUICK MONEY WORLD」も覗いてみて下さい。一助になるはずですよ。

～福岡発～ 修猷館の2020年

第73回大運動会を終えて

白木原 啓人  
(3年 大運動会運営委員長)

二年前——私が初めて修猷大運動会を経験したとき、本番は雨に見舞われました。低体温症等が心配されましたが、当時の運営委員会は中止や延期などの判断はせず、それどころか、傷病者を出さずとなく無事成功させました。私はこの経験を通して、最後まで全力を尽くすことで成長し、大きな感動を生み出すのが、修猷大運動会であることを知り、そして、このような大運動会を中心となつて創り上げる、つまり、大運動会運営委員長となることを志しました。一昨年は、運営委員会の一人として、大運動会に携わりました。さらに、そこで得た経験や知識を基に、昨年は人工芝グラウンドでの初めての大会に



向けて、様々な準備をしていました。そのようなときに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、第74回修猷大文化祭が中止となりました。大きな衝撃を受けたと同時に、大運動会の実施も可能なのかということが頭によぎりました。しかしそれでも、運営委員長となつて大運動会を成功させると決心したのは、二年前の大運動会の経験、最後まで全力を尽くすことで成長し、大きな感動を生み出したことが、思い起こされたからです。このような状況だからこそ、修猷大運動会の意義の真価が問われると思いました。



幻の全国大会

藤原 誠  
(柔道部顧問)

昨年2月24日修猷館同窓会館で、3月に開催される「全国高等学校柔道選手権大会出場」の壮行会が盛大に開かれました。出場するのは、3年生の川添花菜さんです。彼女は2年生の10月に行われた新人戦に続いて、1月の高校選手権も見事県で優勝を果たし、女子48kg級で全国大会の切符を手に入れました。柔道部としては、全国大会出場は3年ぶりの快挙です。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で、全国規模の主要3大会が次々と中止に

親も子もイレギュラー続き

奥田 竜子  
(平成30年卒)

2020年。私たち讃猷会が5月に福岡で開催される修猷館同窓会総会の幹事学年を務め、忙しい1年となる予定でした。数年前から活動を開始し、無数の打ち合わせを同時進行で。記念グッズを作り、全国各地へキャラバンに出向き、当日の企画・段取りを考える。何もかもが順調でした。ところが1月下旬あたり、不穏な空気が漂い始めました。その頃、「まさか」の場合を想定した第2プランを心のどこかで準備し始めた気がします。結局、事態は悪化の一途をたどり、正式に同窓会総会が中止が決まるその瞬間まで、世間の混乱の少し先を読みつつの各種関係機関とのスケジュール確認・調整という



福岡総会当日、会場で中止のお知らせをする讃猷会(左から2人目が筆者)

なり、彼女にとつては、幻の全国大会となつてしまいました。ここで、当時の本人のメールの一文を紹介します。「覚悟はしていました。実際に大会が中止という報道を見たときは悔しさもありました。大会が無くなつても、この高校生活で稽古をしてきた中で得たものはとても大きいのです。今まで稽古してきたことは、大会のためだけではないし、これから先も大学に向けて、また前を向いて努力していこうと思つています。私の柔道人生の目標は、全日本選抜体重別選手権大会に出ることです。今までは憧れでしたが、私には本気で目指しています。」

私は、本人の前向きな気持ちと誰にも負けない稽古量は、「日本一」の高校柔道家に値すると思つています。これからも全力で応援していきます。

百道清風のもと、緑まぶしい新「舞台」の完成を祝して

福岡県議会議員 岳 康宏(昭和63年卒)

令和2年8月21日、福岡県立修猷館高等学校の人工芝グラウンド安全祈願祭・完成式典に私は光栄にもお招きをいただきました。

わが校のグラウンド整備は長年の懸案でありましたが、この度、県は通常のグラウンド改修工事として基礎部分の工事を行い、一般財団法人修猷協会がその上に人工芝を設置することにより、人工芝グラウンドが実現いたしました。川崎隆生修猷館同窓会会長、西高辻信良修猷館同窓会副会長、小川洋福岡県知事をはじめ卒業生並びに、在校生の皆様とともに、人工芝グラウンドの完成をお祝いし、共に喜び合うことができました。



緑一面に生まれ変わったグラウンド全景

立派なグラウンドが完成したからには、是非ともサッカー部には国立出場、ラグビー部には花園出場、野球部には甲子園出場、そして、テニス部、陸上部にも更なる飛躍を期待いたします。

わが校には、昭和39年、安川の完成を機に、在校生、将来の館友たちによって、さらなる未知のドラマを作り出しながら眩しく生まれていくことを切に希望する次第であります。何卒、東京修猷会の皆様にも是非福岡にお見えの際は、「館友の絆」を振り返りつつ、グラウンド視察を兼ねて母校を訪れていただきますようお願い申し上げます。



しかし、卒業生誰しもの心の中に刻まれているだろう素敵な青春時代の追憶の瞬間が、この真新しい緑の「舞台」の完成を機に、在校生、将来の館友たちによって、さらなる未知のドラマを作り出しながら眩しく生まれていくことを切に希望する次第であります。何卒、東京修猷会の皆様にも是非福岡にお見えの際は、「館友の絆」を振り返りつつ、グラウンド視察を兼ねて母校を訪れていただきますようお願い申し上げます。

# 「館友の心の拠り所を目指して！」

前幹事長 松尾 隆広 (昭和54年卒)  
新幹事長 原沢 由美 (昭和58年卒)

昨年6月、副幹事長を8年、幹事長を5年という長きに亘り尽力された松尾隆広氏(昭和54年卒)が退任、新しく東京修猷会幹事長に原沢由美氏(昭和58年卒)が就任されました。お二人に東京修猷会への思いをお伺いしました。

——松尾さん、惜しまれつつの退任、お気持ちは？  
松尾 副幹事長から幹事長への移行時に一年休みました。最後は東京と京都を行き来しながら、皆さんに支えられて何とかやり切ることができました。

——印象に残ったこと、心がけていたことはありますか？  
松尾 私は幹事学年の時から第600回記念大会は印象深いです。他にもたくさんあり



松尾 そう！ たかが同窓会、されど同窓会。みんな仕事もある中、活動しているのだから、所対応できる人が責任を持って楽しんでやって

ですが、全てが楽しかった！

——とは言え、コロナ禍ゆえ同窓会活動が行えない現状はどう思われますか？  
松尾 経験のない事態で執行部も大変戸惑っています。ただこれを機会に今後の同窓会の在り方を模索してもらいたい。

——原沢さん、幹事長になられた心境は？  
原沢 「Mr.東京修猷会」の松尾さんの後なので少なからず不安もありますが、東京修猷会は巷の同窓会とは違い、幹事学年や執行部による運営も伴うので、やれる時にやれる人がやればよい。

——最後に東京修猷会の魅力とは？  
松尾 在任中、他の同窓会から「どうして、そんなに上手く運営ができるのか？」とよく聞かれました。それは70年近い歴史がある二木会という館友が講師となる勉強会の存在が大きいと思います。行けば楽しく新たな学びがある！ 若い方も気軽に参加してみてください。

原沢 東京修猷会は旧交を温めるだけではない新しい出会いがあります。人だけではなく知識や発見、刺激も得られます。先輩・後輩達と飲み語り、ゆる〜く、長く繋がる楽しさを一緒に将来へ繋げていきましょう！

## 2020年度寄付金

2019年11月1日から2020年10月31日までに多数の皆様から御寄付をいただきました。ありがとうございました。御礼の意味を込めて御名前を掲載させていただきます。(敬称略・卒年別)

- (昭25)松岡肇、(昭26)小西正利、(昭26)常岡宏、(昭26)中村道生、(昭26)横瀬一郎、(昭27)田邊萌、(昭28)吉見健三、(昭29)高木道子、(昭30)堤正、(昭31)浅田恭夫、(昭31)影山滋、(昭31)岸川浩一郎、(昭31)伊達直哉、(昭31)中村保夫、(昭31)箱島信一、(昭31)村田和夫、(昭32)國分英臣、(昭32)鳥居健太、(昭32)平野熙幸、(昭32)和田生、(昭33)武石忠彦、(昭33)寺澤美和子、(昭33)山口浩利、(昭33)米倉實、(昭34)加藤泰、(昭34)讃井邦夫、(昭34)服部富美子、(昭34)行武賢一、(昭35)伊藤洋子、(昭35)可見晋、(昭35)羽立教江、(昭35)三嶋陸夫、(昭36)田中正夫、(昭36)土井高夫、(昭36)濱地康彦、(昭36)古川公毅、(昭36)横倉聡明、(昭37)大須賀頼彦、(昭38)上田茂、(昭38)渡辺紀大、(昭39)貝島資邦、(昭39)久保田康史、(昭39)松本陸彦、(昭40)井上浩、(昭40)棚町精子、(昭40)長屋新之助、(昭40)山形紀明、(昭41)有山賢良、(昭41)小段重忠、(昭41)高尾義行、(昭41)恒松芳一、(昭41)安田修之助、(昭42)谷山徳法、(昭44)小島保仁、(昭44)坂井真知子、(昭45)鳥取章二、(昭45)本田由紀子、(昭46)鹿児島正信、(昭46)栗山英俊、(昭46)中村伸生、(昭46)森山幹夫、(昭47)田辺宣孝、(昭48)高山信彦、(昭49)井手富士雄、(昭49)古森光一郎、(昭49)橋村秀喜、(昭50)小林みどり、(昭50)野中哲昌、(昭50)橋詰真義、(昭51)加藤純一、(昭51)小林明、(昭51)油田哲、(昭52)平嶋彰英、(昭53)上蘭勉、(昭53)新納康彦、(昭54)中原滋、(昭56)田中昭人、(昭56)美濃輪正行、(昭57)遠藤功暁、(昭57)西岡修、(昭58)井手慶祐、(昭58)端野智幸、(昭58)原沢由美、(昭59)服部豊、(昭60)川西伸明、(昭60)山根堅司、(平3)笠原愛佳

## 常任幹事会実施報告

副幹事長

刀禰 晋輔(昭和61年卒)

昨年3月以降、新型コロナウイルスの拡大により、全ての行事が中止となり、同窓会活動が半年間も開催できない初めての事態となりました。

そのような中、再活動の第一歩として、10月22日、秋期常任幹事会をリアルとオンラインで同時開催しました。参加者は延べ70名、会場では3密回避、検温・手指消毒など

感染症予防策を徹底し、オンラインでは



## 東京修猷会 年会費納入のお願い

東京修猷会の会報の印刷・発送をはじめ年間行事等の活動は、全て皆様の年会費3,000円で運営されております。どうぞ会費の納入にご協力ください。

●年会費は年間を通じて受け付けております。

郵便振替、銀行振込、コンビニ振込、クレジットカード決済が選べます。二木会や総会の受付でも可能です。

### 郵便振替

口座名義：東京修猷会事務局  
口座番号：00170-6-172892

### 銀行振込

銀行名：ゆうちょ銀行 口座名義：東京修猷会事務局  
店名：〇一九(ゼロイチキウ) 店番：019  
預金種目：当座 口座番号：0172892

### コンビニ振込

同封の振込用紙をご利用下さい。

### クレジットカード決済

東京修猷会のホームページから申込みください。  
《東京修猷会 <https://shuyu.gr.jp/tky/2016/01/nenkaihi.html>》

お振込のうち年会費を超える額はご寄付とさせていただきます。  
郵便振替・銀行振込は会員の特定が困難な場合があります。  
必ず卒年をいれるようお願いいたします。

## 執行部役員紹介



丹羽 潤子 新副幹事長 (平成3年卒)

このたび副幹事長を拝命しました讚猷会の丹羽潤子と申します。主に、サロンド・修猷ならびに、名簿等の情報管理を担当させて頂きます。

総会・二木会の幹事学年の活動を通じて、同期のみならず、多くの先輩・後輩と出会い、かけがえのない時間を過ごさせて頂きました。東京修猷会に、少しでも恩返しできるような微力ながら尽力させて頂く所存です。

コロナ禍でこれまでとは違う状況ではございますが、皆

様に楽しんで頂けるよう精選してまいります。ご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

## 編集後記

今は「会う」ことよりも「会わない」ことに生きている証があるようです。昨年より新型コロナウイルスが猛威を振るい世界に大きな影を落としています。東京修猷会も感染防止に努め総会を中止にしたため会報の編集学年が不在となりましたが、東京修猷会全会員に届く唯一の情報源である会報は発行すべきと決断。急遽、歴代の編集者の協力を仰ぎ、会報史上最高の86名の玉稿を賜ることができました。眩しくも果敢な3年間を修猷で過ごした館友の絆が、これ程までに強く、又、館友は地球がどんなに気紛れを起こし世を激変させても、胆力をもって生き抜けそうだと拝察。なぜなら人間を分断させたウイルスを、世界が新しく変わる千載一遇の好機として捉える気概が玉稿の随所に現れていたからです。デジタル化が加速する今「会えなくても、共にある人との繋がりを胸に、六光星の如く『言葉の力』が輝く本号をご頂戴。どげんしとうかいな？」と友へ思いを馳せて頂けたら幸いです。

時が効力を発揮し、光明が見えた暁には全力で東京修猷会の活気を取り戻さんと願いつつ、ご協力頂いた全ての皆様に心より感謝申し上げます。

田中昭人(S56)  
井口進・原田佳代子(H1)  
小田原真・小野真紀(H2)  
三浦愛佳(H3)  
辻 健(H4)  
編集長 中川美穂(S61)